

【静岡県立静岡高等学校】

令和 8 年度 第 1 回 学校運営協議会 議事録

日時：令和 8 年 6 月 24 日（水）

午後 2 時 00 分～4 時 30 分

会場：静岡高等学校 会議室

1 開 会

校長挨拶

2 授業参観（全日制）

学校紹介動画視聴

3 協議等

（１）自己紹介、会長・副会長の選出

会長の推薦について 委員互選／承認

副会長の推薦について 会長推薦／承認

（２）令和 8 年度学校経営計画の説明（校長）

前年度の意見を踏まえて変更した部分を中心に、スクール・ポリシー、本年度の取組・成果目標の説明を行った。

【全日制】

「スクール・ポリシーの具現化の柱」に、具体的な働き掛けを行うことを明記した。「基本的な生活習慣の確立」では睡眠時間の確保、スマホの適切な使用を追記した。また交通安全指導を追記した。「外部人材の活用」では探究活動に関わる外部人材について、成果目標をのべ 100 人以上とした。「働き方改革」では部活動の統合を行い、正副顧問の役割分担を明確にすることとした。教員の長時間勤務については、教員は生徒からの質問や相談に誠実に対応するため、放課後の勤務時間が長くなる傾向がある。教員の「生徒のために」という気持ちは大切にしたいが、その分休むところはしっかり休んでほしいと考えている。

【定時制】

スクール・ポリシーに変更はないが、本年度の取組として、漢字テストは「全員が合格」とあったものを「個人の目標を達成」に変更した。また働き方改革の成果目標として、休暇の取得率を明記した。

（意見）

E 委員：他県での事故（修学旅行での舟転覆、部活動でのバス事故等）を踏まえ、危機管理について学校経営計画に盛り込む必要はないか。

校 長：取組目標に入れるよう検討する。

（３）学校概況・事業等（校長）

学校案内等資料を基に最近の学校の様子を説明。令和 10 年度に創立 150 周年を迎える。部活動は任意加入だが、加入者は多く、複数の部に加入する生徒もいる。陸上部の活躍がめざましく全日制、定時制とも全国大会に出場する。

（４）意見交換等

【進路指導】

F 委員：全日制の浪人が増えたことについて、進路指導に変更点はあったか。

校 長：本校の進路課の「入らなければならない大学」というキャッチフレーズは、本人が興味関心と向き合い、大学でどんな勉強ができるか調べ、その上で入るべき大学があるのではという意味。「この大学で勉強をしたい」という思いが強く、挑戦する生徒が多かった。高い志望を維持して挑戦するのは悪いことではないので、頑張ってもらえればと思う。

D 委員：社会の選択の幅が広がり、大学の意味合いは変わってきた。個人の意志は尊重していいが、社会情勢をみた助言も必要か。

C 委員：大学入試制度の学校推薦型、総合型選抜についてはどうとらえているか。

進路課長：本校の生徒の志望大学はレベルが高いので、総合型選抜等も倍率的に厳しい。

校 長：かなり強いアピールポイントが複数ある生徒なら可能性は高いが、そうでない生徒が合格するのは難しい。多くの生徒は一般入試で合格できる学力をつけていこうとしている。

【総合探究学習】

E 委員：他校の探究学習で職人との交流を通して「自分も誰かのためになる人になりたい」という声があがっていた。静高卒業生には農業、林業、障害者雇用の事業運営など幅広い人生経験を積んでいる方もいる。良い大学に入ることでなく、社会に貢献する多様な生き方を学ぶ機会が必要。生徒が地域や社会との関わりの中で視野を広げることが大切。

F 委員：自身も伴走者として参加している。卒業生、地元企業など協力したい方は多い。幅広い視点や地元回帰にもつながる。様々な方の協力を仰ぐとよい。

C 委員：多く生徒が集まる講座ばかりでなくともよい。思いを持っている人との縁は大切である。

【意見交換】

D 委員：優秀な生徒を集めている静高の使命は何かを考えなければならない。世の中をリードしていく人間を 1 人でも多く輩出してほしい。大学進学だけでなく、社会を学び、社会に貢献する、人に幸せを与えるという視点を持ってもらいたい。リーダーシッ

プを持った人を育て、将来静岡のリーダーとなってほしい。教員には前述の視点を持たせる指導をお願いし、またリーダーを育てているという自負をもって俯瞰的な視野を維持するよう留意いただきたい。

B委員：グローバル的な視点が学校経営計画に盛り込まれていないように思う。

校 長：グローバル・スタディーズ・プログラムや台湾への修学旅行、また交流も積極的に受け入れ、今後も計画している。経営計画に盛り込むよう検討する。

A委員：大学入試制度の変更は大きく、難関校合格は大変。静高のブランド維持のためにも挑戦は続けてほしい。少子化、私学無償化の影響で県立高校は厳しい状況にあるが、静高は地域N o. 1としてのリーダーシップを将来にわたって存続させてほしい。

C委員：定時制もあらたな入学生を迎えた。令和 12 年度閉課だが、それまで御尽力いただきたい。期待のエールを送りたい。

校 長：様々な御意見をいただき感謝申し上げます。ネクストハイスクール構想や、公立高校の在り方検討など、高校教育は今大きく動いている。今年度は、学校経営計画、スクールミッションを含め、学校経営のコアになる部分をつくり、10 年先 20 年先静高がどうあるべきか考える年と感じている。次回、そういった話もさせていただきたい。

4 閉会・諸連絡

(1) 議事録(要約)について

後日、内容を確認していただき、ホームページへ掲載する。

(2) 今後の予定

第2回 令和8年10月20日(火)午後5時00分～7時30分(定時制公開日)

第3回 令和9年2月8日(月)午後2時00分～4時30分